

# KANEYAMA 地域おこし 協力隊がゆく!



柴田 学 隊員

この数ヶ月、初挑戦させていただく機会が多かったので、それらの活動報告をいたします。

まずは支援員担当地区である漆野で行われた「大鍋芋煮大会」。山形大学の学生に声をかけ、地区と若者を繋ぎ、漆野地区の方々は見ただけの事がないほど、とびきりの笑顔になっており大成功だったと思っています。

谷口がっこそばでは、家族向けイベント「Vibeat vol.3」を郡内協力隊とともに開催させていただきました。200名ほどの方々に来場いただきました。また、みすぎ荘の「荘歌」と「音頭」の2曲について、作曲及び歌を担当させていただきました。披露の場もご準備いただき、現在鋭意アレンジ作業中です。

その他、産業まつり司会、有屋小学校の放課後学習、金山小学校で町のPR動画制作特別授業の補助も始めました。ダイジェストになってしまいましたが、機会をいただいた皆様ありがとうございます！

**金山町の人口は、5,692人**  
10月末現在

- 男性 2,769人 (-2)
- 女性 2,923人 (-4)
- 世帯数 1,768世帯

▶10月の異動 ●出生/4人 ●死亡/11人  
●転入/7人 ●転出/6人

**編集 幸記**

▼今年も「山形ふるさとCM大賞」が12月18日(月)の午後7時から放送されます。YTS山形テレビ主催で、今年で第18回目を迎えるご当地PR番組です。金山町のテーマは「街並みライトアップ」。徐々に取り組みが広がりました。夜の景観づくりを、金山らしく優しい雰囲気で表現しました。

▼CMの審査会を兼ねた番組収録に私も出席させていただきました。各市町村、ひとひねりある工夫を凝らした作品ばかり。こんな特産品があったのか」という意外な発見も多々ありました。もしかすると金山にも、表に出ていない名物が隠れているのかもしれません。(うま)

## 金山さんち! 白銀の山



広がるパウダースノー

白銀の山



夜のスキー場もオススメだゾ! 雪がライトでキラキラ♪ 作者:小栗こぐり

## 「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぽすと内

No.144



『しろくまのそだてかた』 (うつみのりこ/作・絵 飛鳥新社)

「しろくまを育てるときにたいせつな12のこと」。しろくまは遊ぶのが大好き。たくさん遊んであげてください。しろくまは食いしん坊。この世界には、おいしいものがたくさんあることを教えてあげてください。好きなものばかりはダメ。いろいろなものが食べられるようになることが大切です。しろくまが何かを話そうとしているときは、ゆっくり待っていてあげてください。上手に話せないけど、話したいことはたくさんあるのです。しろくまは一体誰のことを一番好きなのでしょう? 子どもに関わるすべての方に是非読んでいただきたい一冊です。

- 寄り添う言葉が変えてゆく / 柘野俊明
- マンガで身につくマナーと礼儀 / 池田圭吾
- 君の臍臓をたべたい / 住野よる
- 漫画 君たちはどう生きるか / 吉野源三郎原作
- 教場ゼロ / 長岡弘樹
- 盤上の向日葵 / 袖月裕子
- 琥珀の夢上下巻 / 伊集院静
- 忘れられた巨人 / カズオ・イシグロ
- ルビンの壺が割れた / 宿野かほる
- ハリネズミの願い / トーン・テレヘン
- 犬が伝えたかったこと / 三浦健太

## 「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00



▼マスカレード・ナイト 東野圭吾/集英社



▼星の民のクリスマス 古谷田奈月/新潮社

若い女性が殺害された不可解な事件。警視庁に届いた一通の密告状。犯人は、都内一流ホテルのカウンタダウン・パーティーに姿を現す!? 敵も化けているので、決して騙されてはいけない状況である。仮面の奥の隠された真実を見破ることができるのか! 発売即重版の人気作品。

クリスマスにお勧めの一冊をご紹介。この物語は、独自の産業をもった小さな町の、ある特別な一年の運命を紹介する内容。登場人物が、クリスマスの時期になるとよく聞くあの動物。その世界へ入り込んだ一人の女の子が遭遇する不思議な体験とは? 子どもも大人も楽しめる作品。

## 12月新刊本

## ぶんげい

金山杉俳句会報 第四一〇回

- 腰伸ばし手をかざして見る罅雲 昭子
- 夕暮れの山並ずれて秋深む 洋子
- 里山の恵みを囲む秋の膳 洋子
- 風道に光りて白き芒かな サダエ
- 走り秋雨にうなじ垂れしまま 敏子
- 長雨に見知らぬ草はびこりぬ 敏子
- 日照雨して露と光りし花野かな 敏子
- 母の背を迫ひし径なり秋薊 敏子
- 菊供養巫女淑やかに緑茶汲む よし子
- 式部の実活けて恙なき今朝の空 順子
- いつ見ても思案顔なる案山子かな 順子
- 湖に静かな秋のありにけり 順子
- 感謝とてワイン捧げる刈田かな 順子
- 天仰ぐ祈りにも似し牽牛花 順子
- 華の道迷ひを誘ふ梅もどき 順子
- 新園舎粧ほふ山に輝けり 順子
- 菅越 庄司けみ子
- 箸くばる笑顔新そば祭かな 順子
- 何時の間に秋の夕焼け沈みけり 順子
- 十人の足あと此処に秋書展 順子
- 此れやこの小町再来秋まつり 順子
- 華展へと客足ねがふ文化の日 順子
- 去りてゆく時代の流れ秋の風 順子
- 羽場 坂本徳太郎
- 移ろひの窓に名月待つ身かな 順子
- 並木道個々に差のある紅葉かな 順子
- 上 阿部 一
- 晩秋や永久に別れの茜雲 順子
- 史を伝ふ武家の屋敷の木の葉散る 順子
- 倅 岸前参議院議員様ご他界 順子
- 秋さむし涙にかすむ霊柩車 順子
- 曇天は供物の湯気か十三夜 順子